

上棟祭 「しょうとうさい」

上棟祭は、柱が立ち棟木を上げる段階で行われるお祭りで、家屋やふねくくのちのみこと やふねとようけひめのみことを守護する神様である屋船久久遅命と屋船豊宇気姫命、工匠たおきはおいのみこと ひこさしりのみことの神様である手置帆負命と彦狭知命、そして、地域の神様である産土神を祀るのが一般的です。

上記の神名を記した棟札を中央の柱に貼り、祭場を屋上と屋下に設けて、祭祀は行われます。棟木には神様への捧げものとして幣串(上棟札)を立て、魔除けの意味をもつ作り物の弓矢や扇が飾りつけられます。



昨年解体された手洗い所・青年の家の幣串

上棟祭では修祓や献饌、祝詞奏上などが行われ後、「曳綱ひきつなの儀」と称し、掛け声よろしく棟木を棟に引き上げます。次に、「槌打つちうちの儀」と称し、棟木を棟に打ち固める儀式を行います。その後「散餅銭さんぺいせん」では餅や小銭などを撒いて災いを除きます。現在、一般的に上棟祭は、棟木を上げた状態で、その真下に祭場を設けて行われること

が多いようです。その際、曳綱の儀と槌打の儀は省略されることもあります。

近年は建売の住宅も増え、上棟祭も少なくなりましたので昔の習わしを知るこのできる貴重なお祭りとなっています。

祭典暦 令和6年9月

1	日	10:00	旬 祭	仮本殿
8	日	11:00	童男八乙女童女認証奉告祭	仮本殿
		10:00	旬 祭	仮本殿
10	火	11:00	沖恵美酒神社月次祭	境内末社
			招福縁日 十日市開催	
16	月祝	11:00	敬老の日祭	仮本殿
17	火	18:00	観月祭	祈禱殿
20	金	10:00	旬 祭	仮本殿
21	土	11:00	庭津火神社祭	境内末社
		17:00	宵宮祭	仮本殿
22	日	7:00	秋季皇霊殿遷禊式	祓所
		10:00	例 祭	仮本殿
		10:00	渡御発輿祭	仮本殿
23	月祝	12:00	御旅所祭	香爐園浜
		17:20	渡御還御祭	仮本殿

9/29 日 手作り市開催

道しるべ



太虚に帰す

おほしおちゅうさい せいしんどうきつき
—大塩中斎「洗心洞筍記」—



えびす宮 総本社

西宮神社



〒662-0974 兵庫県西宮市社家町1-17
Tel 0798-33-0321 Fax 0798-33-5355

<https://nishinomiya-ebisu.com>

Follow Me



西宮神社 公式 Instagram
@nishinomiya_ebisu_official

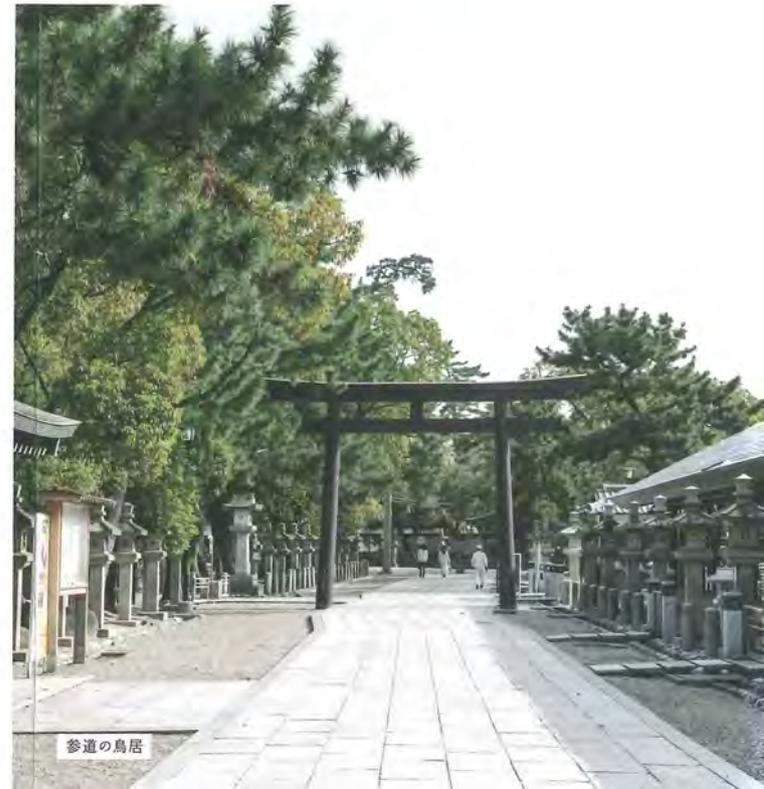


令和六年 九月行事ご案内



えびす宮 総本社

西宮神社



参道の鳥居

えびす昔かたり

江戸時代の西宮神社の様子を
御社用日記を紐解き、紹介致します。

【御社用日記】

元禄7年から現存する西宮神社の神主が代々書き綴ってきた日記で、
兵庫県と西宮市の重要文化財に指定されています。

解説

不漁になると西宮の浜方の漁師より大漁祈禱の依頼が度々ありました。

この他にも7月頃(現在の8月)にはクラゲ退散の祈禱を行うなど、漁業の神様として地元の漁師を中心に信仰されていた記述が数多く残っています。

現在でも遠近各所より漁業関係者の方が参拝され、それぞれの漁であがった海の幸をご奉納頂いています。

昨日浜方の漁師が不漁のため、
浦祭を執り行ってもうらえないかと頼みに来られたので、
廣田社・南宮社・本社の神前にて大漁があるよう
丹誠込めて祈禱を行いました。
漁師らも皆本社拝殿に参列しました。

享保二十年(一七三五)八月十日



十日えびすに奉納される大マグロ

西宮まつり 例祭・渡御祭 齋行

9/21(土)・22(日)祝・23(月)振休

9月22日の例祭を中心として21日から23日を西宮まつりと称し、
例祭・渡御祭また色々な神賑行事を行います。

21日は午後5時に宵宮祭を齋行し、祭典後に奉納演芸会が開催
されます。

22日は午前10時より例祭が齋行され、午後からは200名のお子
さんによる稚児行列、地域の小学生が作成した樽みこし巡行が
行われ、境内・神社周辺が賑わいます。

23日には渡御祭が執り行われ、当社の南西にある香櫨園地区
で陸渡御を行い、香櫨園浜で御旅所祭が齋行されます。その
ち新西宮ヨットハーバーより海上渡御が発し、御前浜沖でか
ざまつりを齋行致します。

3日間の詳しい日程は当社ホームページの西宮まつり特設サイト
をご覧ください。

<https://nishinomiya-ebisu.com/matsuri/>



22日 稚児行列



海上渡御「かざまつり」

